

# 自然体験とユニバーサルデザイン、 e-モニター参加に関する意識調査

## アンケートの概要

実施期間：令和2年2月17日（月曜日）から3月2日（月曜日）まで

対象者数：1,069人

回答者数：645人

回答率：60.3%

### 年齢階層別

	10歳代 20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代 以上
回答者数	43人	132人	167人	138人	118人	47人
構成比	6.7%	20.5%	25.9%	21.4%	18.3%	7.3%

### 地域別

	北勢	中南勢	伊勢志摩	伊賀	東紀州
回答者数	321人	181人	77人	53人	13人
構成比	49.8%	28.1%	11.9%	8.2%	2.0%

※北勢地域 四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市  
木曾岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町

※中南勢地域 津市、松阪市、多気町、明和町、大台町

※伊勢志摩地域 伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、  
大紀町、南伊勢町

※伊賀地域 名張市、伊賀市

※東紀州地域 尾鷲市、熊野市、紀北町、御浜町、紀宝町

## アンケート結果

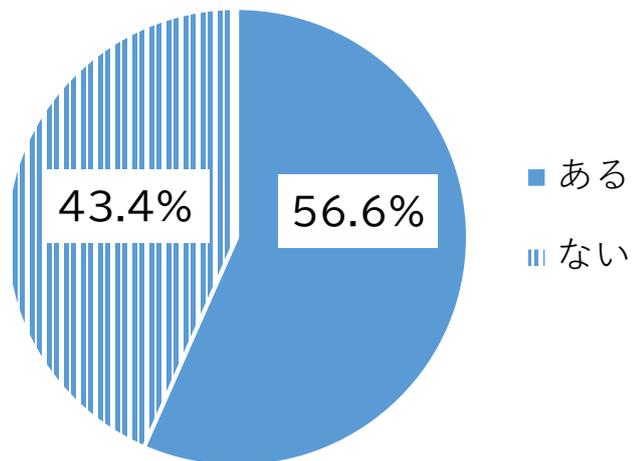
○「自然体験に関するアンケート結果について」(農林水産部農山漁村づくり課)

### 1 自然体験の経験について

Q 1 あなたは、三重県内で自然体験の経験がありますか。

三重県内で自然体験の経験のある方が少し増えました。(昨年度調査では53%)

今後も自然体験を行う方が増えるよう、県内の自然体験の魅力を発信していきたいと考えています。

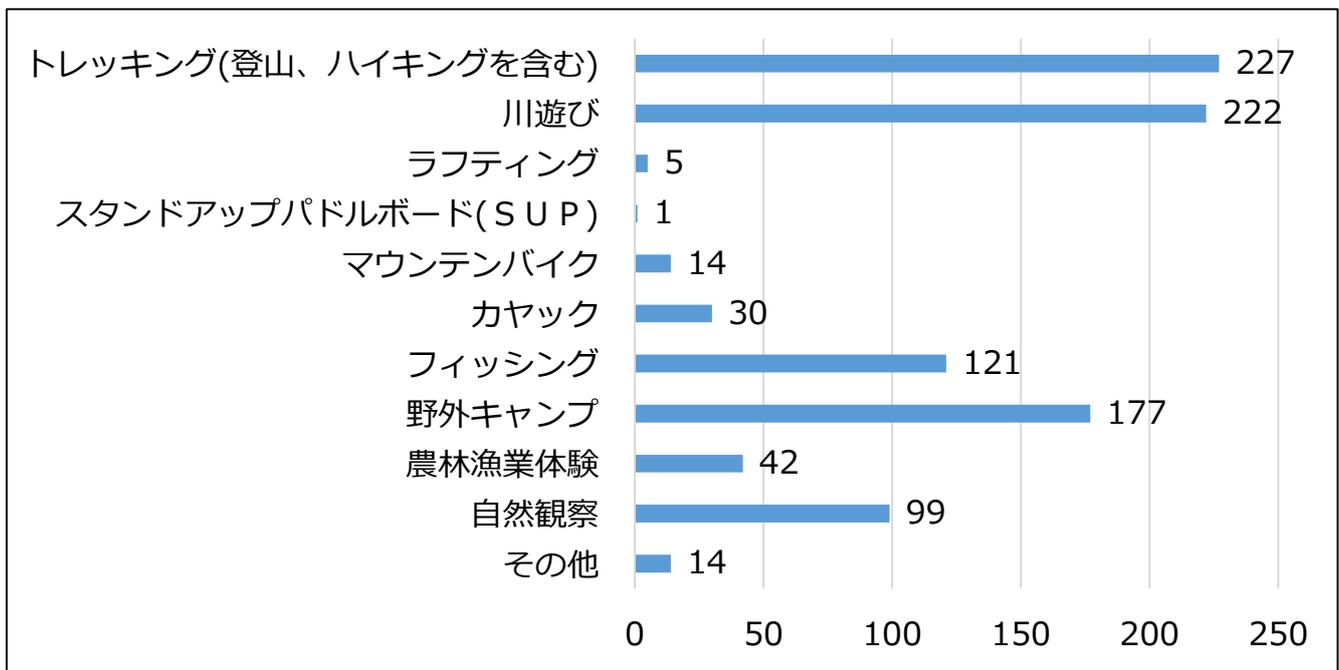


## 2 自然体験の内容について

Q2 どのような自然体験でしたか。

三重県内で自然体験の経験がある方にその内容をたずねたところ、以下のグラフのとおり、「トレッキング」や「川遊び」が上位となりました。

回答が少なかった自然体験も魅力的なものであることから、その楽しさや、県内の身近な場所で体験できることなどの情報を発信していきたいと考えています。

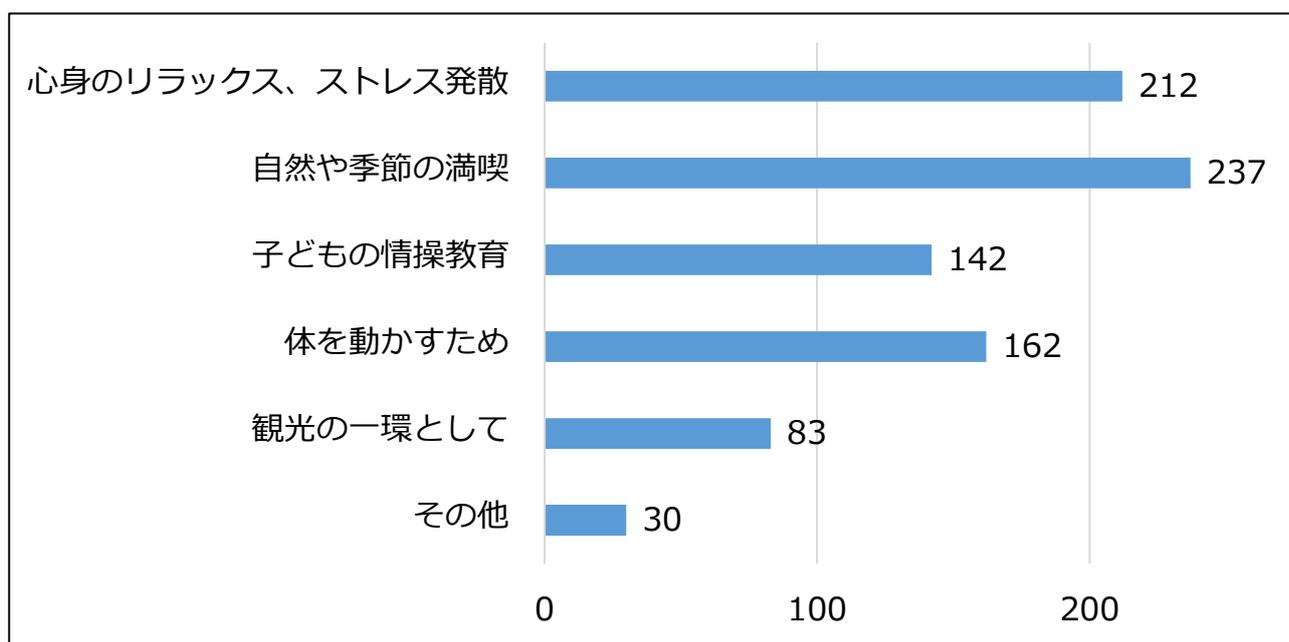


### 3 自然体験の目的について

Q3 自然体験を行った目的は何ですか。

三重県内で自然体験の経験がある方にその目的をたずねたところ、以下のグラフのとおり、「心身のリラックス、ストレス発散」や「自然や季節の満喫」が上位となりました。

こうした情報を今後の情報発信やイベント等の参考にしていきたいと考えています。

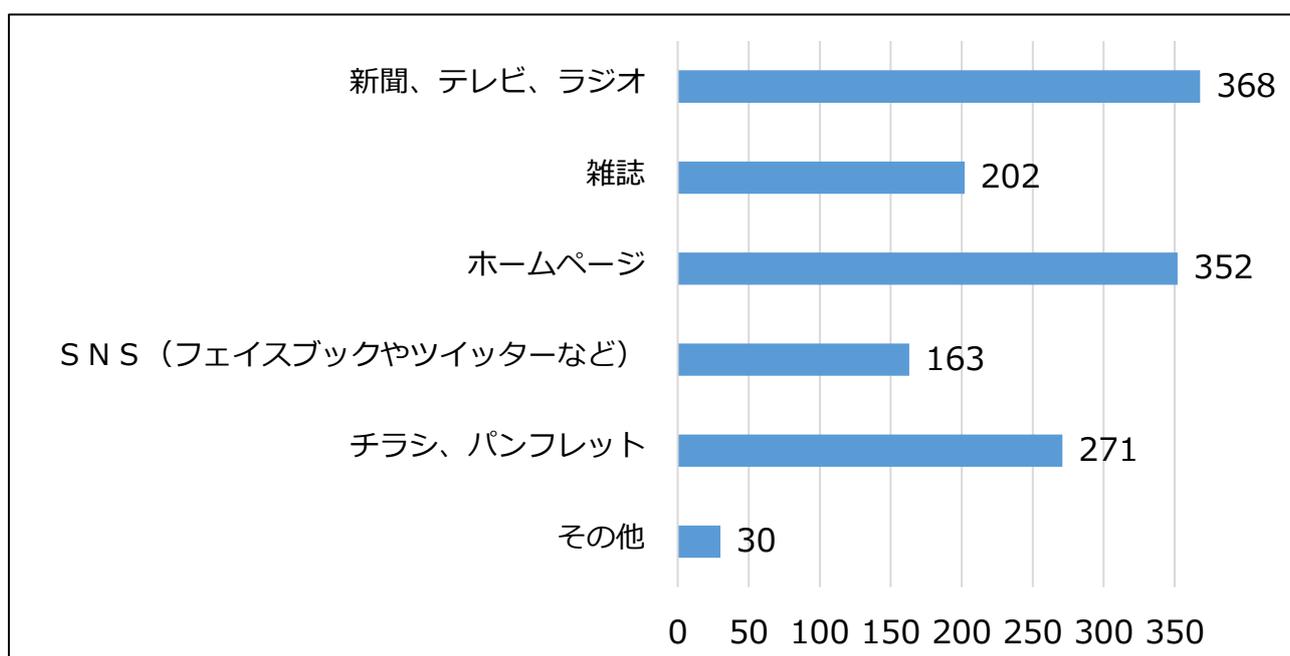


#### 4 自然体験の情報入手について

Q4 あなたは、自然体験についての情報を得る場合、どの手段を用いますか。

自然体験の情報を入手する手段についてたずねたところ、以下のグラフのとおり、「新聞、テレビ、ラジオ」や「ホームページ」が上位となりました。

このほかのメディアを利用している方も多くことから、さまざまな手段を用いて情報発信を進めていきたいと考えています。

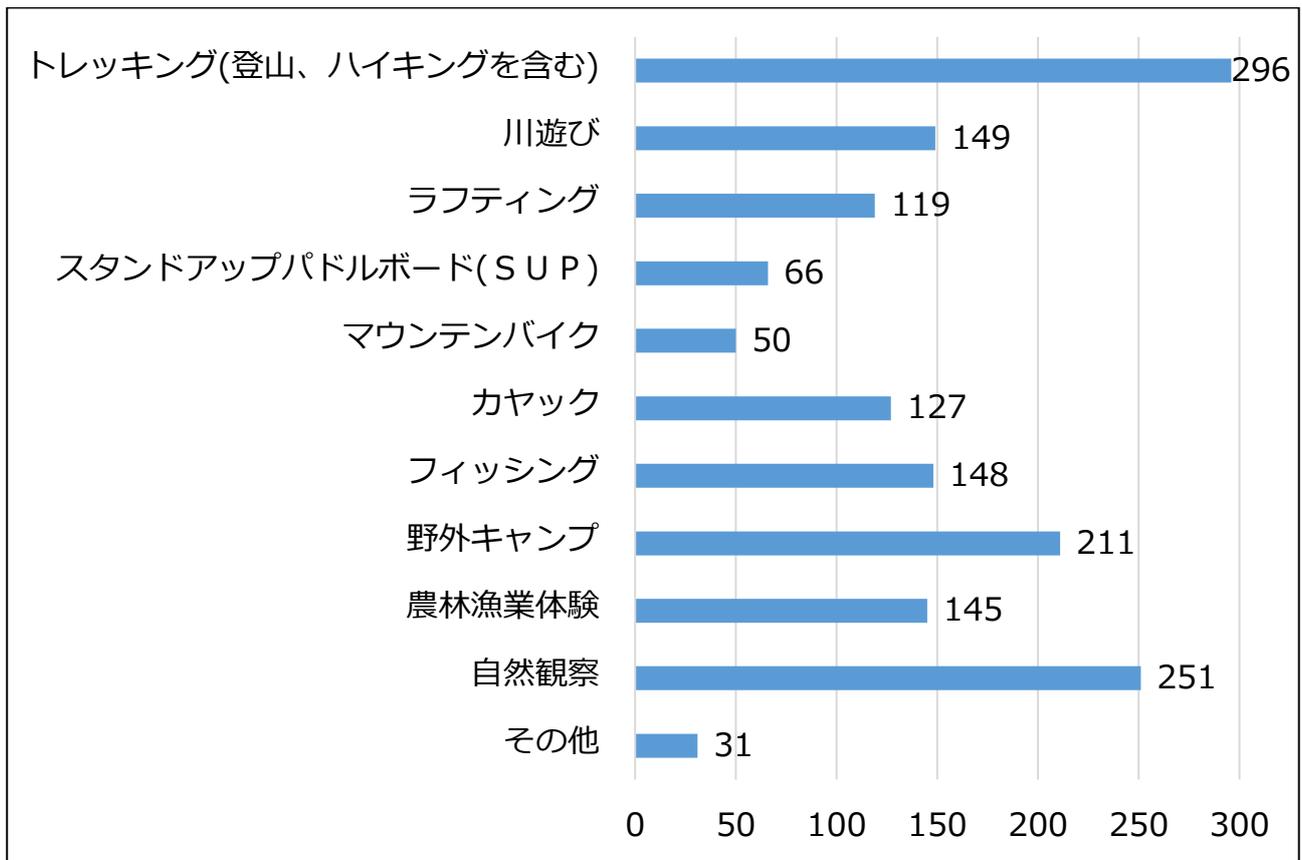


## 5 自然体験の希望について

Q5 あなたが、今後やってみたいと思う自然体験は何ですか。

今後希望する自然体験についてたずねたところ、以下のグラフのとおり、「トレッキング」「自然観察」や「野外キャンプ」が上位となりました。

今後も、イベントの開催等を通じてさまざまな自然体験に触れていただく機会を作り、多くの方に自然体験を行っていただきたいと思います。



## ○「ユニバーサルデザインに関するアンケート結果について」

(子ども・福祉部地域福祉課)

※文章中のパーセント(%)表示は、小数点第2位を四捨五入して求めています。

### 6 「ユニバーサルデザイン」の意味の認知度及び関心について

Q6 「ユニバーサルデザイン」の意味を知っていましたか。また、関心はありますか。

ユニバーサルデザインの意味について約69%の方が知っているという回答しています。ユニバーサルデザインに関心のある方は、約74%となっています。

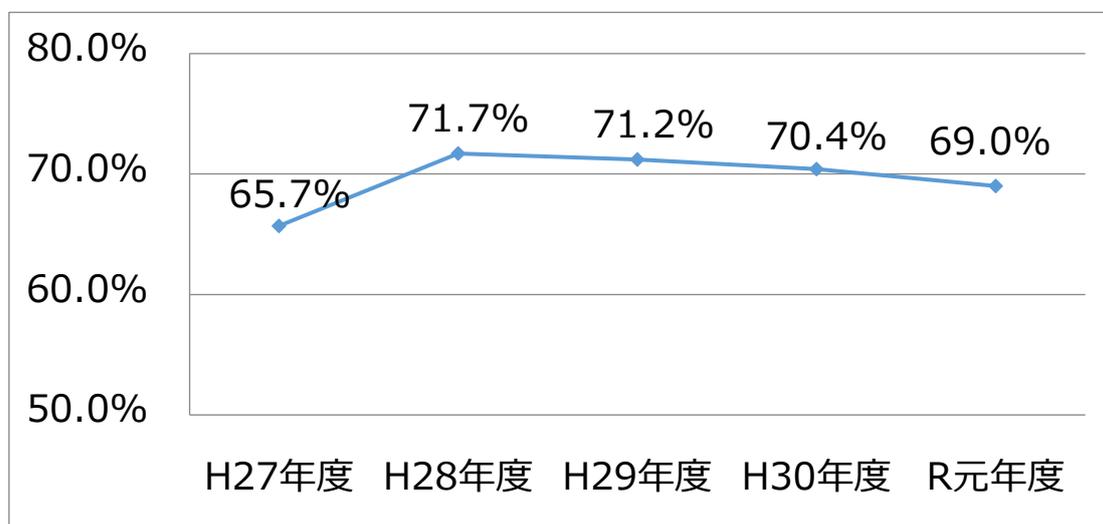


図 「ユニバーサルデザイン」の意味を知っている方の割合の推移

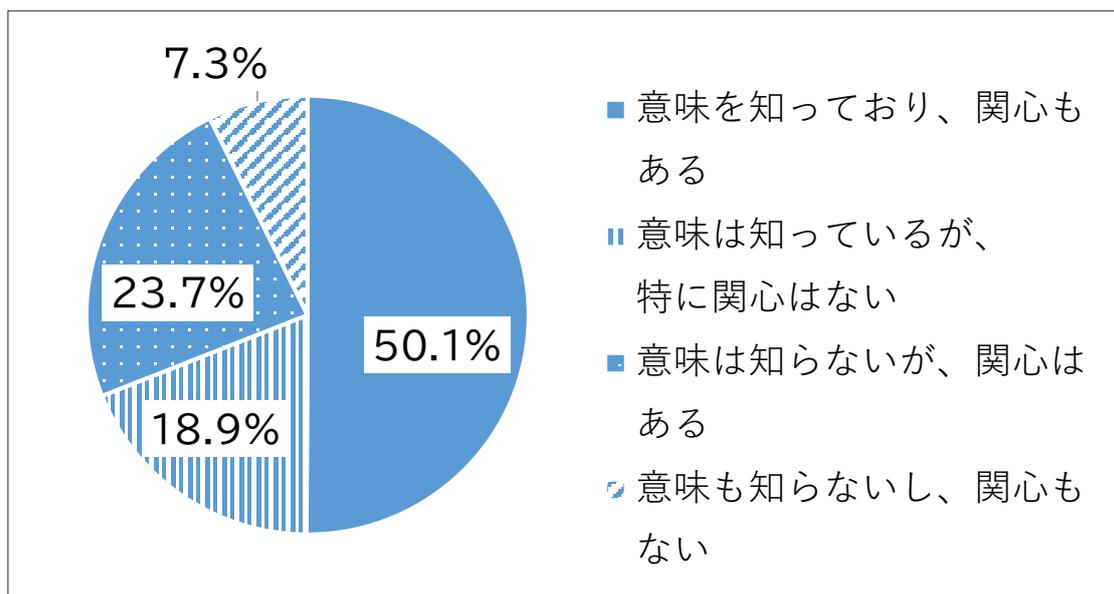


図 ユニバーサルデザインの意味の認知度及び関心

## 7 施設等に関するユニバーサルデザインについて

Q7 官公庁・病院・スーパー・駅舎・歩道など多くの人が利用する施設や電車、バスなどの乗り物について、だれもが使いやすくなってきていると感じますか。

多くの人が利用する施設やバスなどの乗り物についてだれもが使いやすくなっていると感じるかという問いに、「そう感じる」「どちらかといえばそう感じる」と回答した方は、合わせて約64%となっています。

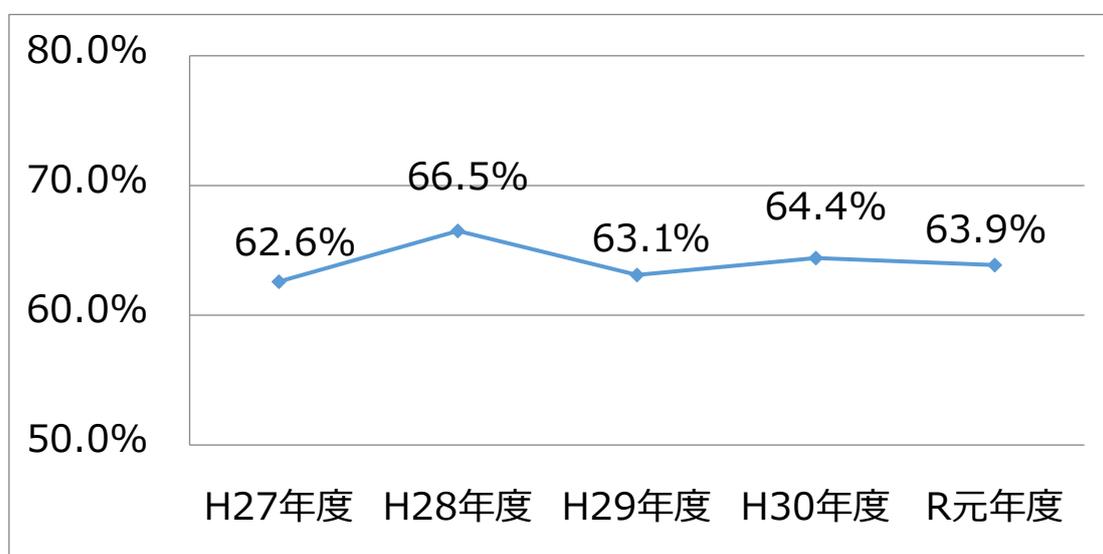


図 多くの人が利用する施設等が使いやすくなってきたと感じる方の割合の推移

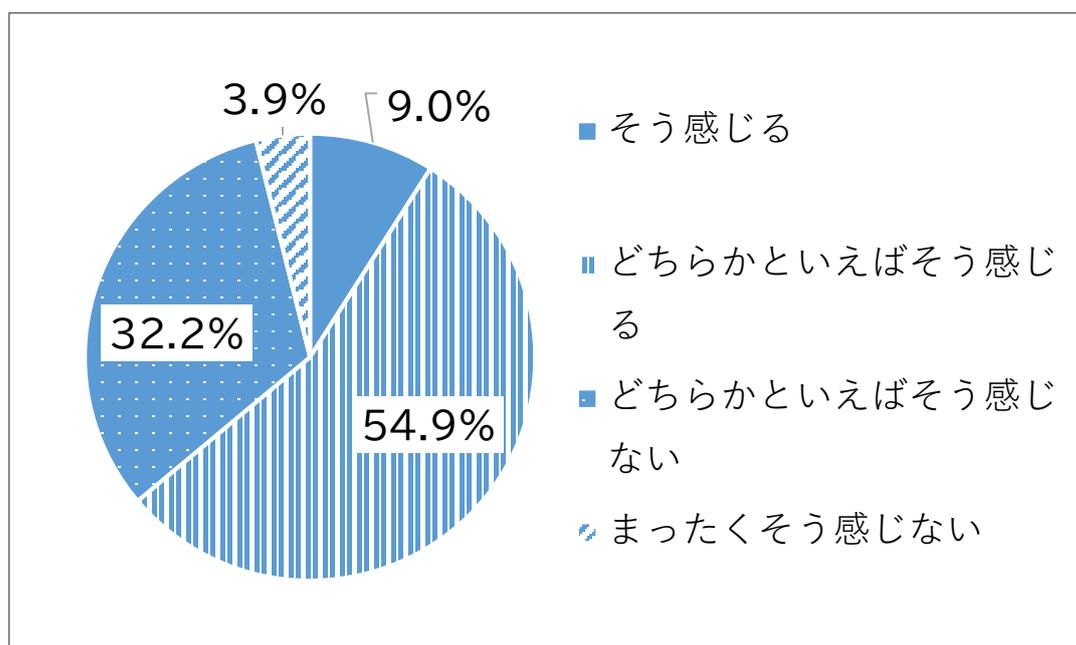


図 施設等のユニバーサルデザインについて

## 8 製品及び情報提供に関するユニバーサルデザインについて

Q8 日常生活で使う製品、社会生活に必要な広報誌やチラシなどの情報提供が、障がい者、高齢者、妊産婦、外国人等さまざまな人の立場に立って配慮されてきていると感じますか。

製品、情報提供がさまざまな人の立場に立って配慮されてきているかという問いに、「そう感じる」「どちらかといえばそう感じる」と回答した方は、あわせて約51%となりました。

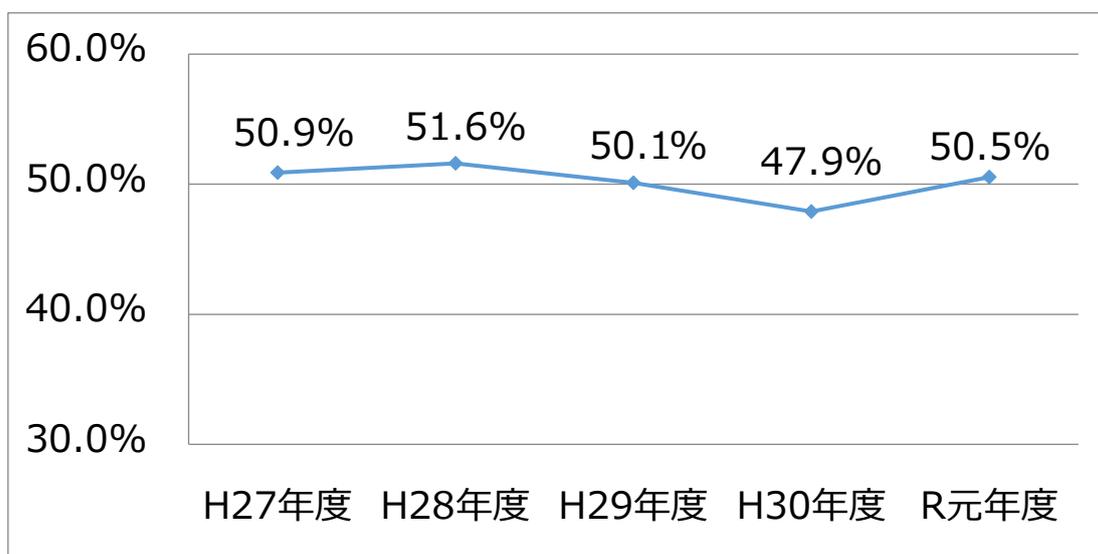


図 製品及び情報提供がさまざまな人の立場に立って配慮されていると感じる方の割合の推移

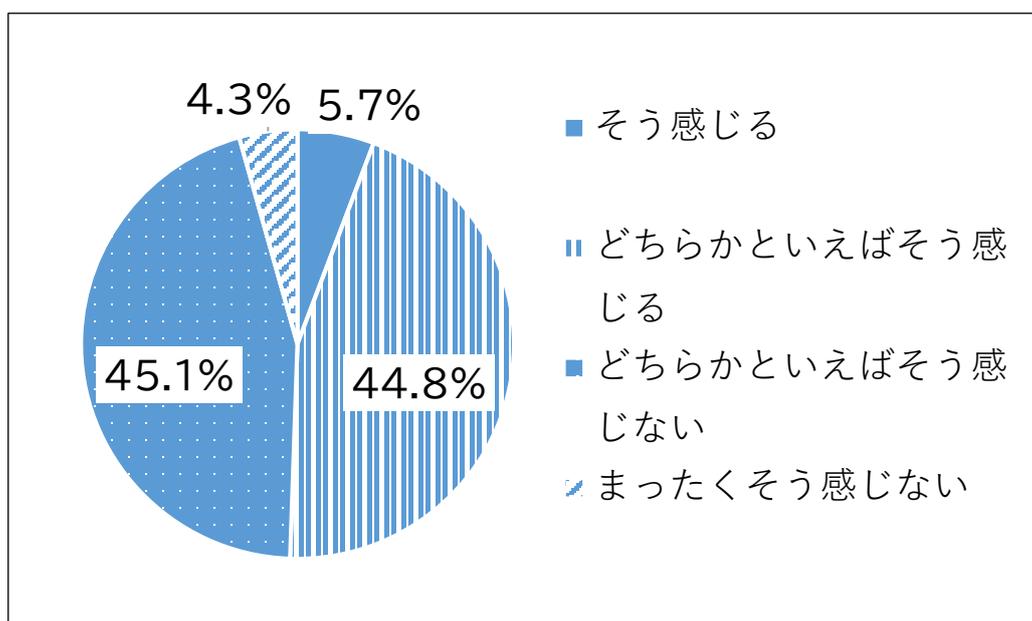


図 製品及び情報提供に関するユニバーサルデザインについて

## 9 サービスの提供に関するユニバーサルデザインについて

Q9 国、県、市町等の行政サービスや商店、商業施設、宿泊施設等の民間企業等の顧客サービスが、障がい者、高齢者、妊産婦、外国人等さまざまな人の立場に立って提供されていると感じますか。

行政サービスや顧客サービスがさまざまな人の立場に立って配慮されてきているかという問いに、「そう感じる」「どちらかといえばそう感じる」と回答した方は、あわせて約52%となりました。

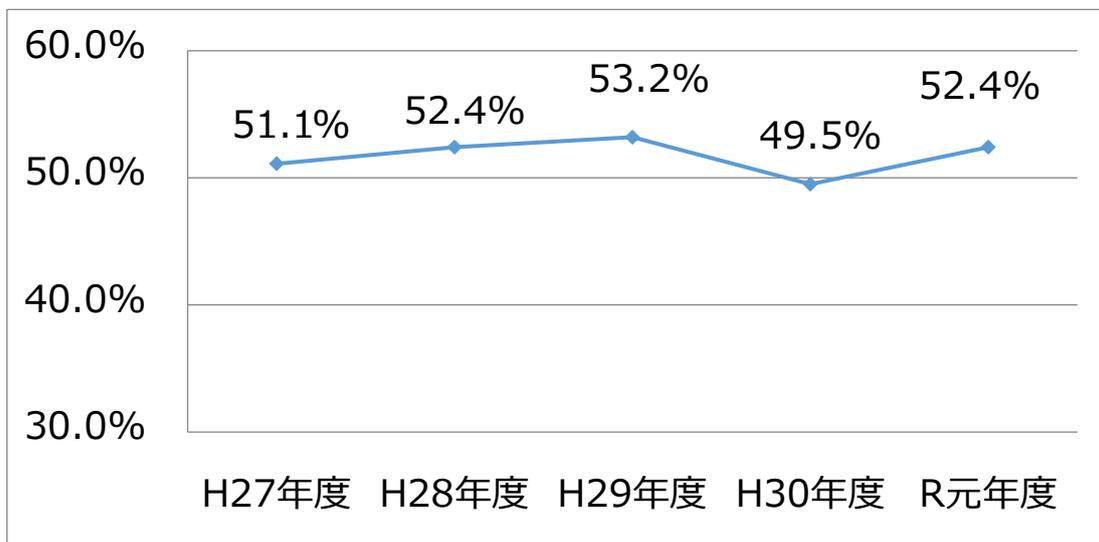


図 行政サービスや顧客サービスがさまざまな人の立場に立って提供されていると感じる方の割合（過去の調査との比較）

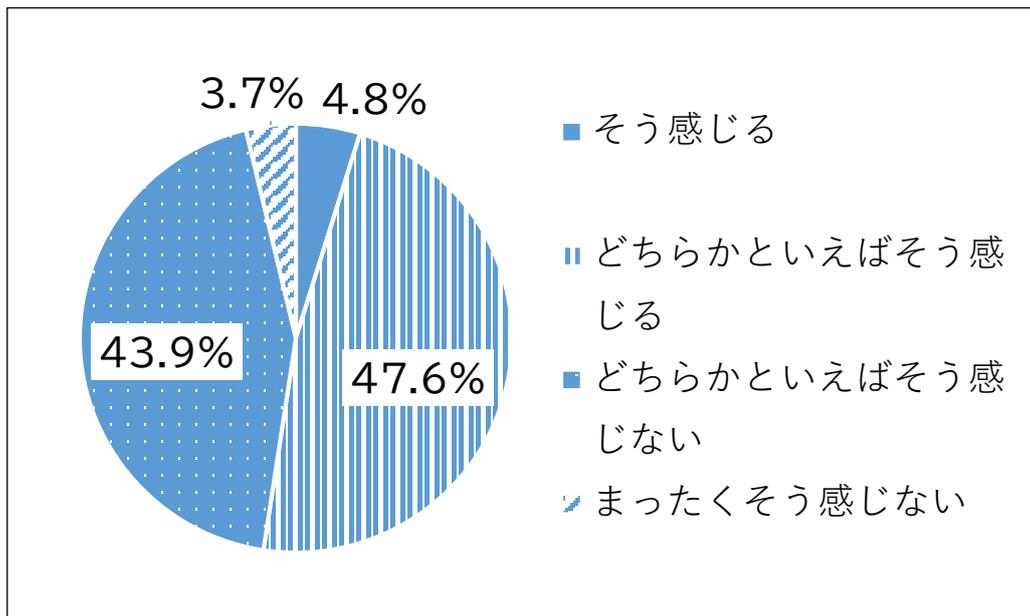


図 サービスの提供に関するユニバーサルデザインについて

## 10 「三重おもいやり駐車場利用証制度」の認知度について

Q10 県では、「車いす使用者用駐車区画」(車いすのマークを表示した区画)の不適正な利用を防止し、障がい者や妊産婦、けが人などで、歩行が困難な方の外出を支援するため、公共施設や商業施設などに「おもいやり駐車場」の設置を進めるとともに、その利用証を交付する「三重おもいやり駐車場利用証制度」を実施しています。

あなたは、「三重おもいやり駐車場利用証制度」をご存じですか。

「制度の内容を知っている」「店舗等で見たことがあるが、内容は知らない」合わせて、全体で約 77%の方がおもいやり駐車場を知っているか、または見かけたことがあると回答しています。

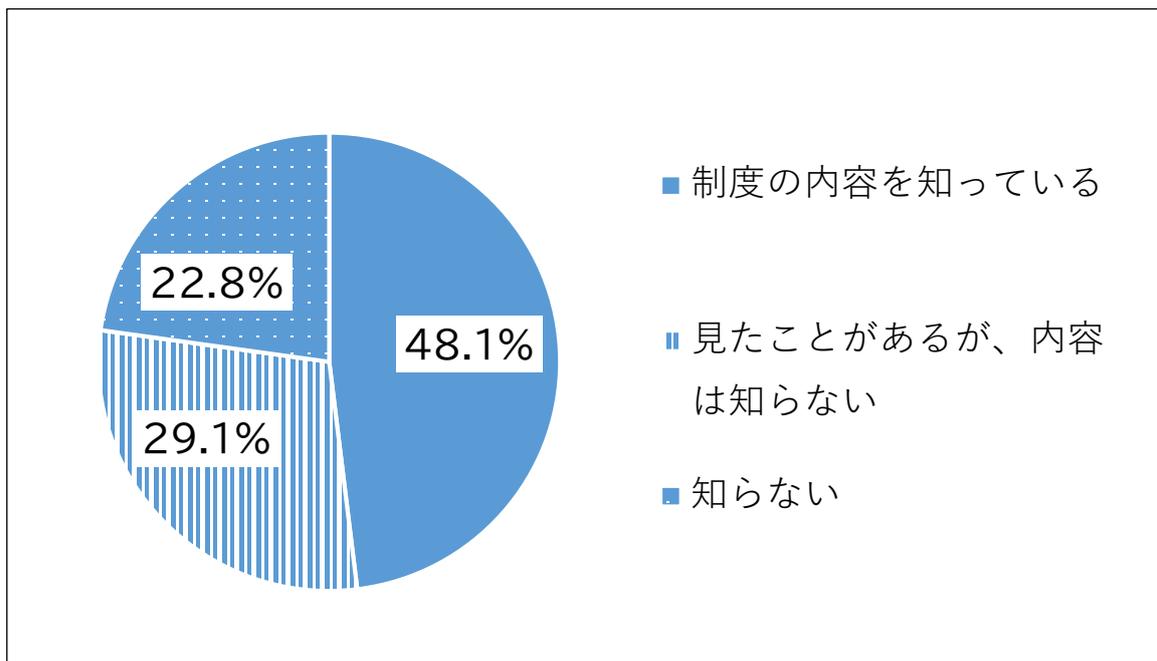


図 「三重おもいやり駐車場利用証制度」の認知度について

## 11 「三重おもいやり駐車場利用証制度」の今後のあり方について

Q11 Q10で「制度の内容を知っている」と答えた方にお聞きします。  
あなたはこの「三重おもいやり駐車場利用証制度」の今後のあり方をどのように思いますか。

Q10で「制度の内容を知っている」と答えた方を対象にした、「三重おもいやり駐車場利用証制度」の今後のあり方をどのように思うかの問いに、約89%の方が「制度を継続すべきである」と回答しています。

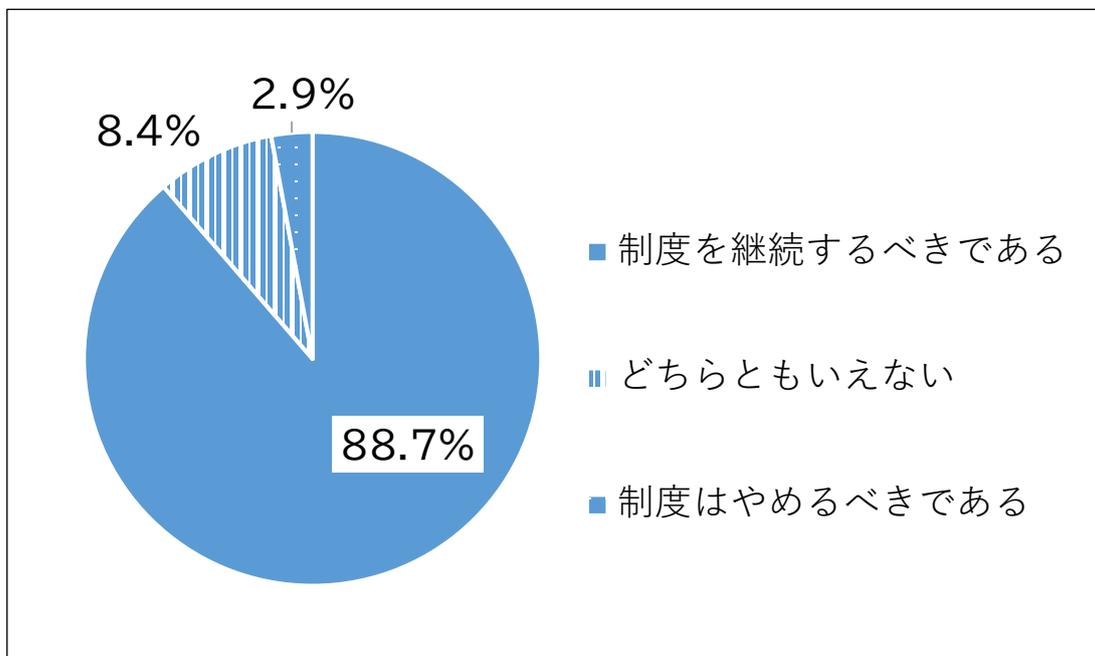


図 「三重おもいやり駐車場利用証制度」の今後のあり方について

## 12 「適合証プレート」の認知度について

Q12 県では、公共的施設の整備に関し、その施設が、障がい者、高齢者等が安全かつ快適に利用するために必要な基準に適合している場合には、整備基準適合証（「適合証プレート」）を交付しています。あなたは、「適合証プレート」を見たことがあり、その意味をご存知ですか。

整備基準適合証について、「店舗等で見たことがあり、示す意味を知っている」「店舗等で見たことはあるが、示す意味は知らない」を合わせて約31%の方が見たことがあると回答しています。

また、「店舗等で見たことがあり、示す意味を知っている」「店舗等で見たことはないが、示す意味は知っている」を合わせて約27%の方が示す意味は知っていると回答しています。

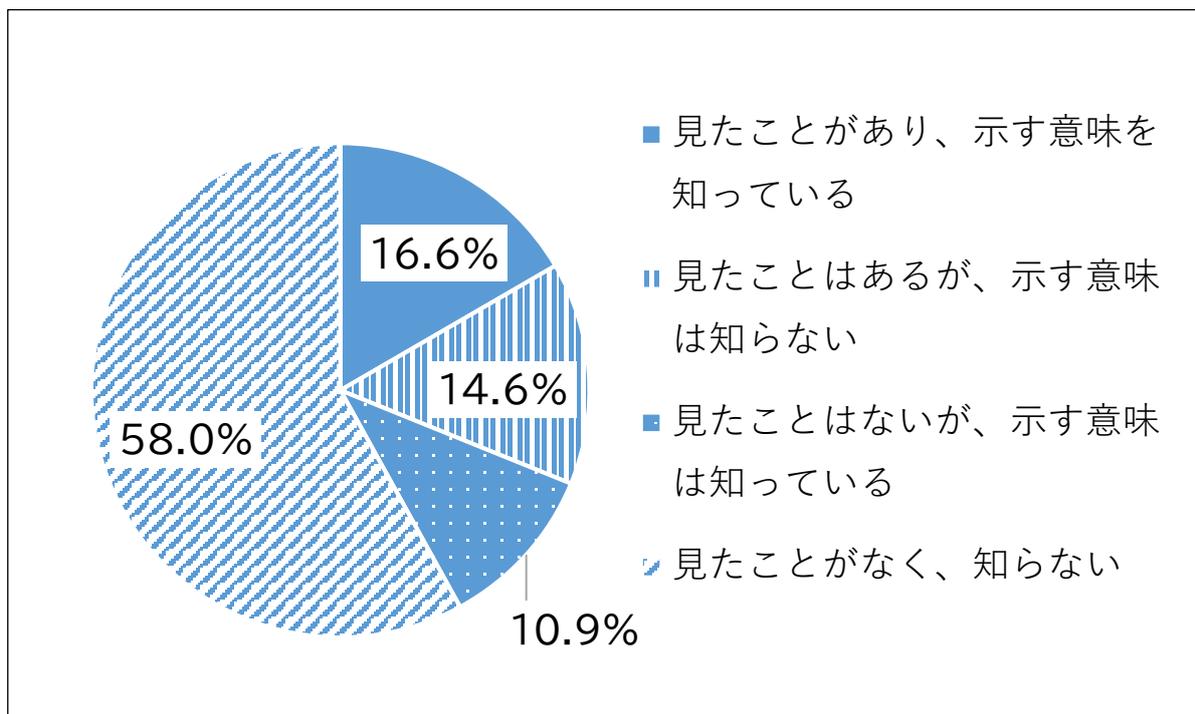


図 「適合証プレート」の認知度について

### 13 「マタニティマーク」の認知度について

Q13 「マタニティマーク」は妊産婦が交通機関等を利用する際に身につけ、周囲の人が妊産婦への配慮を示しやすくするためのものです。また、交通機関、職場、飲食店等が、呼びかけ文を添えてポスターなどとして掲示し、妊産婦にやさしい環境づくりを推進するものです。あなたは、「マタニティマーク」を見たことがあり、その意味をご存知ですか。

「マタニティマーク」について、「見たことがあり、示す意味を知っている」「見たことはあるが、示す意味は知らない」を合わせて約67%の方が見たことがあると回答しています。

また、「見たことがあり、示す意味を知っている」「見たことはないが、示す意味は知っている」を合わせて約82%の方が示す意味は知っていると回答しています。

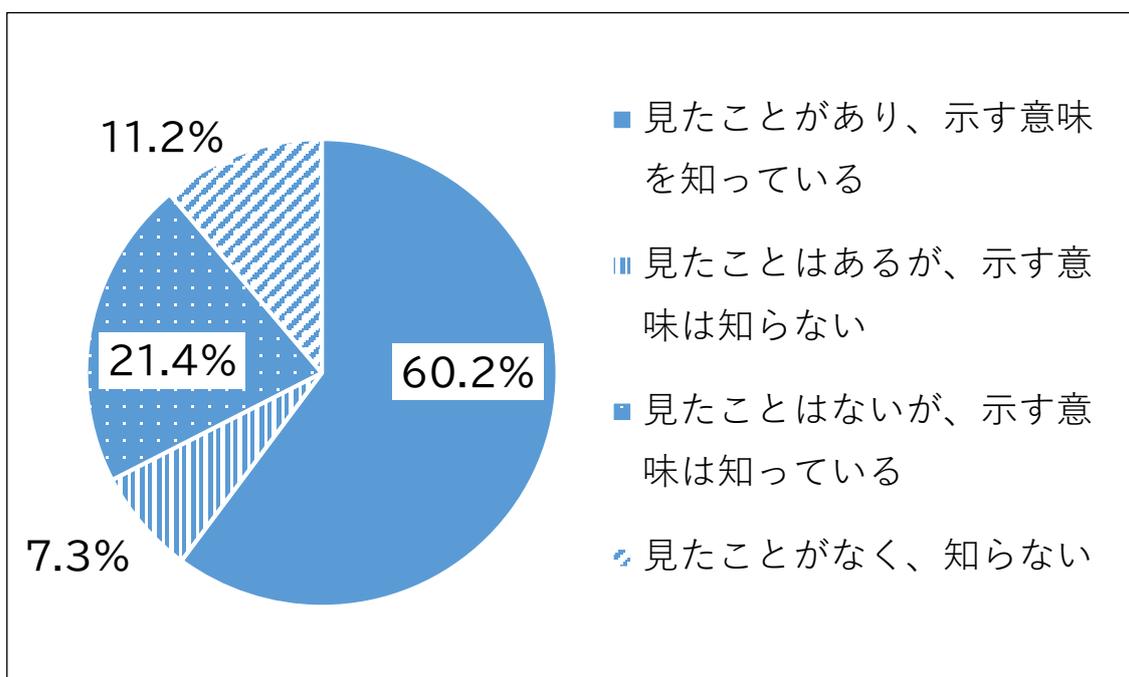


図 「マタニティマーク」の認知度について

## 14 「ベビーカーマーク」の認知度について

Q14 「ベビーカーマーク」は公共交通機関や商業施設などにおいて、ベビーカー使用者が安心して利用できる場所や設備を明示したり、ベビーカーの使用を禁止する場所や設備を明示したりするためのものです。あなたは、「ベビーカーマーク」を見たことがあり、その意味をご存知ですか。

「ベビーカーマーク」について、「見たことがあり、示す意味を知っている」「見たことはあるが、示す意味は知らない」を合わせて約 35%の方が見たことがあると回答しています。

また、「見たことがあり、示す意味を知っている」「見たことはないが、示す意味は知っている」を合わせて約 56%の方が示す意味は知っていると回答しています。

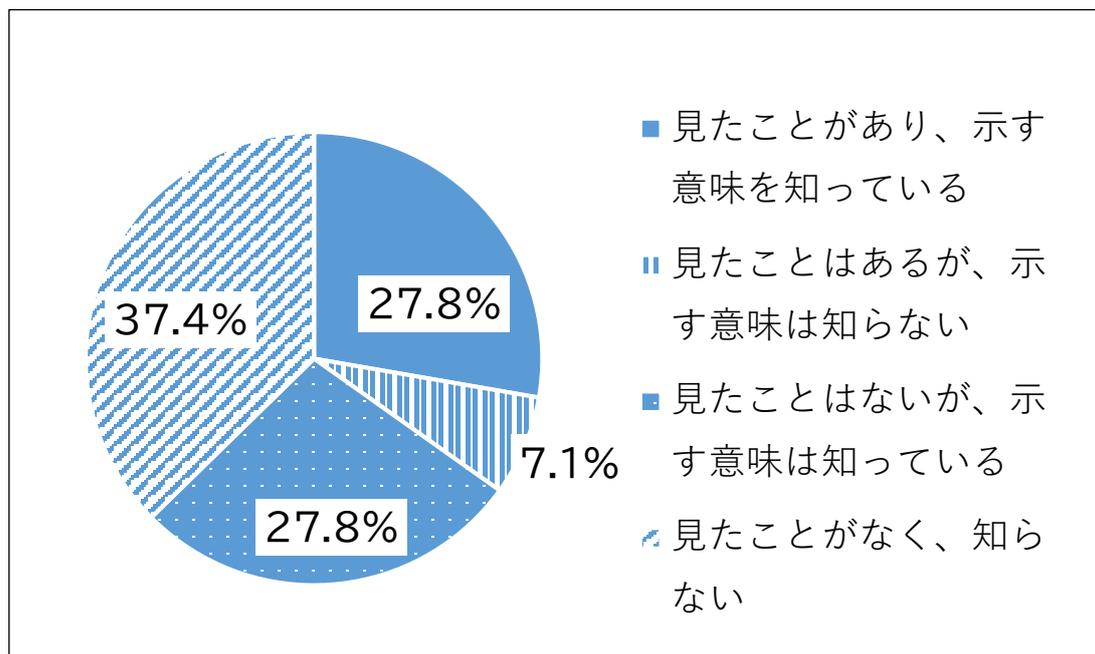


図 「ベビーカーマーク」の認知度について

## 15 「ヘルプマーク」の認知度について

Q15 「ヘルプマーク」は義足や人工関節を使用している方、内部障がいや難病の方、または妊娠初期の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう、作成したマークです。あなたは、「ヘルプマーク」を見たことがあり、その意味をご存じですか。

「ヘルプマーク」について、「見たことがあり、示す意味を知っている」「見たことはあるが、示す意味は知らない」を合わせて約46%の方が見たことがあると回答しています。

また、「見たことがあり、示す意味を知っている」「見たことはないが、示す意味は知っている」を合わせて約67%の方が示す意味は知っていると回答しています。

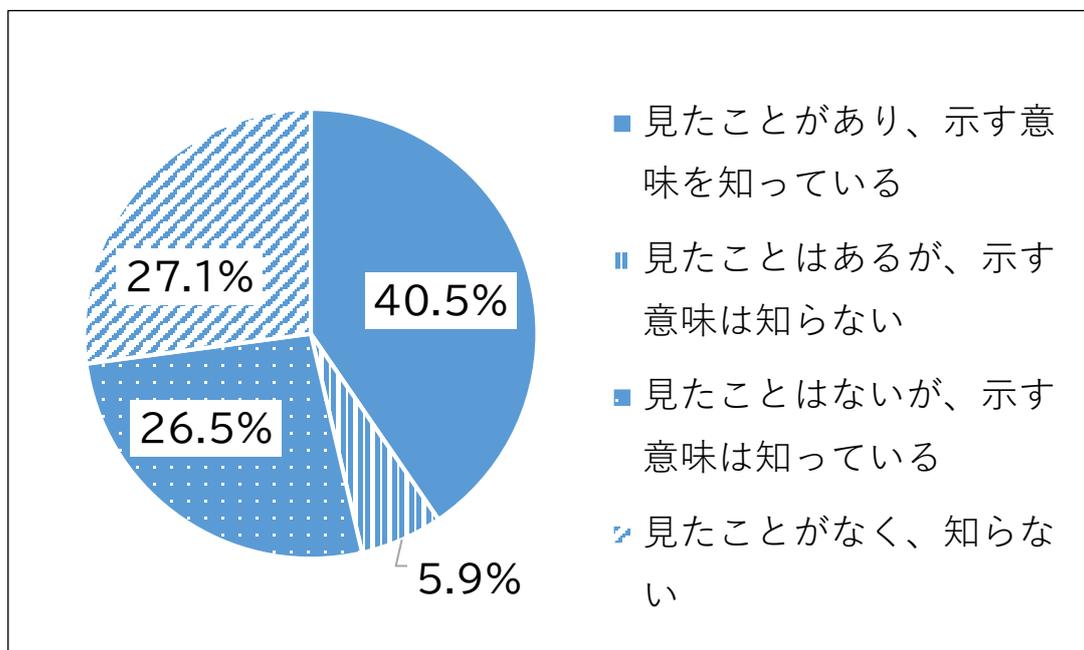


図 「ヘルプマーク」の認知度について

## 16 e-モニターアンケートに参加したご感想について

Q16 最後に広聴広報課からお聞きします。

この1年間、e-モニターとしてアンケートにお答えいただき三重県政を身近に感じていただけるようになりましたか。あてはまるものを1つ選んでください。

e-モニターアンケートに参加したご感想（三重県政を身近に感じていただけるようになりましたか）について、「とても感じる」「どちらかといえば感じる」を選択した方は、合わせて90.0%(580人)となっている一方で、8.7%(56人)の方は「どちらかといえば感じない」「全く感じない」という結果になりました。

